

# 全体質疑

## 新たなキャリアステップは 乗務員系統で課題

新幹線協議会 青木代議員

●2024年3月2日に、山陽新幹線車内において乗務中の車掌がお客様より暴力を受ける第三者加害が発生した。第三者加害・カスタマーハラメント防止に向けて、より

良いコミュニケーションとなるよう会社との議論をお願いする。●新幹線協議会の安全の取り組みとして、JR九州労組と意見交換会を開催した。安全お守り手帳からテーマを



取り上げて議論を深めた。翌日には、併設されている「安全創造館」を視察。

●国鉄採用者の定年退職や若手社員の離職による労働力不足が大きな課題となっている。

●プロ採の新たなキャリアステップについて、ML昇職をめざす組合員の自らの立ち位置が分かり難い状況になる。乗務員系統の新たなキャリアステップでは、新幹線乗

より一層の新しい技術導入による業務改革、新入社員や社会人採用者の育成が急がれるが、日々の業務に追われ、社員を育てる余力を生み出せていない。新幹線協議会主催の系統別会議を開催し、施策の検証と課題解消に向けて取り組みを進めていく。

●2007年7月、鉄道事業における固有技術の基盤強化、管理、運営の充実を図るとともに、時代の要請に応じた適切な事業体制を構築するとして、新幹線管理本部が設置されたことに伴い、2007年10月26日に「新幹線協議会」を発足させた。組織のあり方について、組合員の幸せを前提とし、議論を深めていく。

●2024春闘では、平均賃上げ20・180円、645%の過去最大の成果を獲得することができた。しかしながら、成果に対する感じ方が年齢層や資格級で異なっている。

●今年、芸備線の再構築協議会設置要請を受け、直ちに会社と議論を行った。組合員の不安を解消するよう、会社からの丁寧な説明等を求めた。

●山陽新幹線に関する課題は、新幹線協議会の系統別会議を行い、その中で、各系統の振り

●JR西労組HPの研修システムを活用を

●JR西労組HPの研修システムを活用を

## 「だろろう作業の排除、 かもしれない作業の励行」を提唱

中国JRバス地方本部 米廣代議員



●数年来、起きていなかった労災事故が昨年12月に発生。ちよとした気の緩みが起因の事故となった。昨年度は運転事故件数、有責事故22件（対前年8件の減）、輸送障害は5件（対前年3件増）発生。

●2023年度初、事業計画では▲274億円の赤字を見込んでいた。コロナ禍が明けたこの1年、バスご利用が回復し、多くの輸送改善施策（減便や廃止）、車両整備業務の変更、洗車・清掃の

●3月、新幹線工務関係職場にて、JR西労組を脱退し、JR西労へ加入するという事象が発生させた。彼は春闘結果に不満を持ち、自ら加入届を持っていた。その思いに気がなかったのは痛恨の極みである。

●2024春闘は、工務系社員や駅、そしてC5、C4の若手に光が当たる、大きな成果であった。

●厚労省は昨年末、労働組合の加入率16・3%は過去最低と公表している。

●私たちは、政治とルールは切っても切り離せない関係で

●山陽新幹線に関する課題は、新幹線協議会の系統別会議を行い、その中で、各系統の振り

●JR西労組HPの研修システムを活用を

●JR西労組HPの研修システムを活用を

●JR西労組HPの研修システムを活用を

## ルールを守るためにも 立ち止まることも重要

岡山地方本部 今井代議員



●2024春闘は、工務系社員や駅、そしてC5、C4の若手に光が当たる、大きな成果であった。

●厚労省は昨年末、労働組合の加入率16・3%は過去最低と公表している。

●私たちは、政治とルールは切っても切り離せない関係で

●山陽新幹線に関する課題は、新幹線協議会の系統別会議を行い、その中で、各系統の振り

●JR西労組HPの研修システムを活用を

●JR西労組HPの研修システムを活用を

●JR西労組HPの研修システムを活用を

●JR西労組HPの研修システムを活用を

## 執行部答弁

### NS修了生の運用はこの先も変わらない

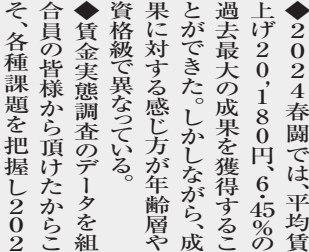
杉野 賃金対策部長



4春闘を闘う事が出来た。概布、フォトメッセージを頂けたからこそ春闘を闘う力をもらった。改めて春闘に対する各種取り組みに感謝申し上げる。

●次期春闘を闘うためには、2024春闘の成果を踏まえた新たな賃金実態調査のデータが必要になる。9月の第29回賃金実態調査の取り組みを要請する。

●この度の春闘で、勤務単位の職務手当や、月額の職務手当に増額や拡大があったが、各系統における関係部門等やML層の組合員が手当の対象とならないケースは多く、新たな課題



●2024春闘では、平均賃上げ20・180円、645%の過去最大の成果を獲得することができた。しかしながら、成果に対する感じ方が年齢層や資格級で異なっている。

●賃金実態調査のデータを組合員の皆様から頂けたからこそ、各種課題を把握し2022

●来年度からプロフェッショナルの組合員が手当の対象とならないケースは多く、新たな課題

## ローカル線の議論が加速する中、 地域との対話が重要

田中 政策調査・福祉対策部長



●昨年、芸備線の再構築協議会設置要請を受け、直ちに会社と議論を行った。組合員の不安を解消するよう、会社からの丁寧な説明等を求めた。

●地方ローカル線の議論が進められる中、持続可能な公共交通の実現に向けては地方自治体との対話が重要であると考えており、地方議員と協力し、自治体訪問を行っていただきたい。

●山陽新幹線に関する課題は、新幹線協議会の系統別会議を行い、その中で、各系統の振り

## JR西労組HPの研修システムを活用を

川西 教育部長



●山陽新幹線に関する課題は、新幹線協議会の系統別会議を行い、その中で、各系統の振り

●山陽新幹線に関する課題は、新幹線協議会の系統別会議を行い、その中で、各系統の振り

●車内事故は人身事故扱いで、事業の拡大などが定期的に制限され、該当乗務員も刑事罰行政処分が下され、免許取り消しという大変厳しい処分が下される。ABC運動を念頭に安全運転に取

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金

●24春闘は、「人財への投資」「働き」の価値に見合った賃金